

レーザー冷却など要件の厳しい最先端研究に最適な高信頼性&メンテナンスフリー・システム

Quantel 社製 CW ファイバレーザー “EYLSA” に 1.1 μm 帯モデル登場



仏 Quantel 社(カンテル <http://www.quantel.fr/>)の「EYLSA」は、原子のレーザー冷却、レーザートラップのような最先端の理化学用途向けに設計されたラックマウント型の単一周波数 CW ファイバレーザーである。2 年前の発売から、780nm, 767nm, 532nm, 1550nm, 1064nm という複数の出力波長を提供してきた。

このたび Quantel 社では、イッテルビウムの増幅帯域の境界で発生する FM/AM(振幅変調対周波数変調)変換現象を大幅に低減することで、1100~1118nm 範囲での単一周波数光増幅を劇的に改善することに成功した。特許申請中の本技術により、この帯域において最大 3W の、非常に信頼性に優れた単一周波数レーザー及びアンプを提供できるようになった。なおオプションでバルク倍波結晶を用いた可視光出力バージョンも提供可能である。

主な仕様と特長

- 波長域 1100~1118 +/-1 nm
- 平均出力パワー 最大 3 W, パワー安定性 +/-1% (1時間)
- 単一周波数出力 線幅 \leq 100 kHz (積算時間 1 ms)
- 低強度ノイズ \leq 0.1 % (RMS, DC to 1 MHz)
- 高いビーム品質 $M^2 \leq$ 1.3, ガウシアン近似ビーム,
- 振動や温度変化にも高い耐性
- 空冷

以上

株式会社 日本レーザー

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-14-1 URL <http://www.japanlaser.co.jp/>

本リリース製品の営業担当者 レーザー機器部 長谷山 智仁

電話 03-5285-0863 FAX 03-5285-0860 E-Mail : lase@japanlaser.co.jp

本リリースについてのお問合せ 販促業務部 橋本 和世

電話 03-5285-0861 FAX 03-5285-0860 E-Mail : hashimoto@japanlaser.co.jp